

商工観光部の方針書

部 名	商工観光部
部長名	佐藤 和志

1. 部の使命(ありたい姿)

地域経済が活性化しているとともに、おもてなしの心が地域に根差している	
担当政策	政策4:魅力ある地域資源を活用し、人を呼び、仕事を生み出す産業の振興を図ります
担当施策	4-2:活気ある商業の振興 4-3:活力ある工業の振興 4-4:観光・物産資源の発掘と発信 4-5:企業誘致の推進、企業留置と雇用対策

2. 部の抱える課題(現状)

<ul style="list-style-type: none"> ・物価高騰の影響等で停滞した地域経済の克服 ・人口減少と地域経済縮小への対応 ・労働生産性向上と付加価値増大への支援 ・多様な働く場創出と人材確保への支援 ・横手の魅力発信と観光振興 ・市有温泉施設の運営

3. 今年度の『スローガン』

<p>もっとつなごう！ ひと・ちいき・しごと</p>

4. 今年度の方針

<ul style="list-style-type: none"> ・市内事業者の事業継続と成長を支援する ・労働力維持確保のための取り組みを推進する ・産業と働く場の多様性を作り出す ・観光素材を更に磨き上げ、横手の魅力を発信する ・優れた横手製品の販路拡大を支援する ・2025大阪・関西万博に向け横手市の認知度向上を図り、国内外の誘客を促進していく ・市有温泉施設運営方針に基づく具体的取り組みを推進する

5. 今年度の重点取組項目

(1)	実現したい成果	市内事業者への成長支援により地域経済が活性化されている
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・横手市商工業振興計画に基づき、市内産業の育成・支援、若年者の地元定着を図ります。 ・Bizサポートよこてを核に起業家育成に注力するとともに、駅東口の賑わい創出を目指します。 ・生産性向上への設備投資や産学共同研究等経費に支援することで市内企業の成長を促します。 ・若年者地元定着のため、事業所の魅力発信を支援し雇用のマッチングを促進します。 ・工業用地造成を進め、企業誘致による新たな雇用の場の創出を目指します。
(2)	実現したい成果	優れた観光素材と横手製品のブラッシュアップが成され、広く情報発信されている
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ターゲットを的確に把握し、効果的な誘客プロモーションを展開します。 ・官民連携のもと、稼げる観光地域づくりを進め、増田まんが美術館を中核とした全市回遊滞在型観光を推進します。 ・2025大阪・関西万博の開催応援イベント実施を通じ、海外誘客に向けた横手市観光のPRを図ります。 ・秋田空港と横手市を結ぶエアポートライナーを運行し、空港便利用者の誘客促進を図ります。 ・継続した販売促進活動により既存販路の定着を図りつつ、国内外における新たな販路開拓も進めることで、横手製品の販路拡大を支援します。 ・「リトルよこて」の開催など、首都圏及び仙台圏を主なターゲットとした魅力発信をより一層進めます。
(3)	実現したい成果	今後の市有温泉施設の運営方針に基づき具体的取り組みを遂行している
	取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ・譲渡公募、指定管理公募手続き等を進め、引受け事業者を選定します。

6. 方針に対する年度上期(4月～9月)の取組状況

- (1) 市内事業者への成長支援による地域経済の活性化
 - ・若年者の地元定着のため市内事業所の魅力発信と雇用のマッチングイベント等を実施した
 - ・新たな工業用地造成のため、6月の発注、9月定例会議決後の本契約締結を経て工事に本格着手した
- (2) 優れた観光素材、横手産品ブラッシュアップと情報発信
 - ・横手やきそばや展望台横手城などの観光素材のブラッシュアップ、JR東日本による冬季大型キャンペーン実施に合わせた冬の新名所造成の検討開始、リトルよこてin新小岩等開催を通じニーズの収集と産品PR等を実施した
- (3) 今後の市有温泉施設の運営方針に基づいた具体的取り組みの遂行
 - ・指定管理者制度導入に係る公募の実施後、評価委員会における評価を経て優先的に交渉する事業者を決定した。譲渡を目指していた施設への応募はなかった

7. 年度下期(10月～3月)に向けた課題と取組方針【ギャップと対策】

- (1) 市内事業者への成長支援による地域経済の活性化
 - 【課題】
 - ・人材の確保難、エネルギー価格や原材料費が高止まりしているなかにおける地域経済活性化
 - 【取組】
 - ・産学共同研究の推進や企業支援・産業振興両アドバイザーによる助言を継続実施し、企業の競争力強化につながる技術力アップや生産性向上、新事業展開の構築等につながるよう支援を図っていく
- (2) 優れた観光素材、横手産品ブラッシュアップと情報発信
 - 【課題】
 - ・冬季の観光閑散期の緩和
 - 【取組】
 - ・冬季誘客に向け、現存の観光素材を活用した新しいコンテンツの創造を具現化し、併せて受入体制の構築を図る
- (3) 今後の市有温泉施設の運営方針に基づいた具体的取り組みの遂行
 - 【課題】
 - ・取組みの着実な実施
 - 【取組】
 - ・指定管理者制度導入、温泉入浴サービスの廃止等の市の取組みについて、地域住民、市議会の理解を得る
 - ・温泉入浴サービスを廃止する地域については、活性化策について幅広い世代と協議をしながら進めていく

8. 総括(取組みの結果と成果、次年度に向けた課題【結果と成果】)

- (1) 市内事業者の事業継続と成長支援、地域経済活性化への取り組み
 - 結果と成果：
 - ・プレミアム付商品券事業により地域消費の喚起を図った(81, 257セット、406, 285千円)
 - ・企業の競争力強化につながる事業者支援と、起業・創業支援のための環境整備と活用促進を図った
 - ・誘致認定1社、新規立地協定1社、新たな働く場(操業時雇用54人を予定)を創出できた
 - 課題：
 - ・若年者の地元定着につながる対策の強化
 - ・空き店舗解消と賑わい創出
 - ・産学共同研究の促進と人材育成の取り組み強化
 - ・工業用地の拡充
- (2) 優れた観光素材と横手産品ブラッシュアップへの取り組み
 - 結果と成果：
 - ・観光閑散期における誘客対策の一つとして旧片野家を活用した取組みを実施し反応を探った
 - ・観光客受入れ体制の課題である空港からの2次アクセス改善に向け、送迎サービス「よこてWARP」の仕組みを構築、実証実験として運行した
 - ・大阪城公園、大阪国際空港など、関西圏での出前かまくら開催により横手の魅力を発信した
 - ・よこてfun通信読者数を前年度比約770人増とし応援人口増加を図った。(新たな取組みの電子書籍は92人)
 - ・香港・マカオでのプロモーション活動のほか、新たな市場開拓に向けマレーシアでのプロモーション活動と市場調査を実施した
 - ・応援人口の皆さんと横手応援拠点とのつながりを深める取組みを実施した
 - 課題：
 - ・観光施策実施のための手法の検証継続
 - ・観光客の満足度向上を目指した「質」重視の誘客と商品開発
 - ・横手産品の現状に適した販路拡大支援、新たな輸出相手国の開拓
 - ・横手応援拠点と連携した魅力発信と応援人口との関係深化に向けた事業の更なる推進
- (3) 市有温泉施設の方向付けに沿った実行の取り組み
 - 結果と成果：
 - ・施設の譲渡、指定管理化、入浴サービス再開に向けた取組みを議会へ提案した
 - 課題：
 - ・運営方針に基づく具体的取り組み推進